

有機資材の適合性を確認します！



Organic Material for JAS products

一般社団法人 有機 JAS 資材評価協議会



ホームページ
<http://www.yuhyokyo.com/>



資材リスト
<http://www.yuhyokyo.com/list/>

登録認証機関が共同で運営しています

2000年8月に有機JAS認証制度が始まって以来、肥料販売業者の規格に対する理解不足や間違った宣伝による誤使用の事故が続き、有機農産物の生産者は資材に対し大きな不安とリスクを抱えてきました。

こうした積年の問題を解決するため、複数の登録認証機関が共同で2011年6月2日に「有機JAS資材評価協議会」を設立し、以下の事業を実施しています。

- 有機農産物の生産に係る肥料・土壌改良資材・農薬・調製用等資材及びその他の資材が、有機農産物のJAS付属書並びに一般管理・育苗管理の規格・基準に適合するか否かの審査
- 審査の結果、使用可能と判断したものをリスト化し、ホームページで公開
- 資材の有機JAS適合性判断・手順の理解を図るため、資材業者・生産者・登録認証機関等を対象とした講習会の開催

有機JAS付属書等への資材の適合性評価は、農林水産省の『有機農産物のJAS資材評価手順書』に準拠した手順により行います。同時にコーデックスガイドラインの考え方を参照します。

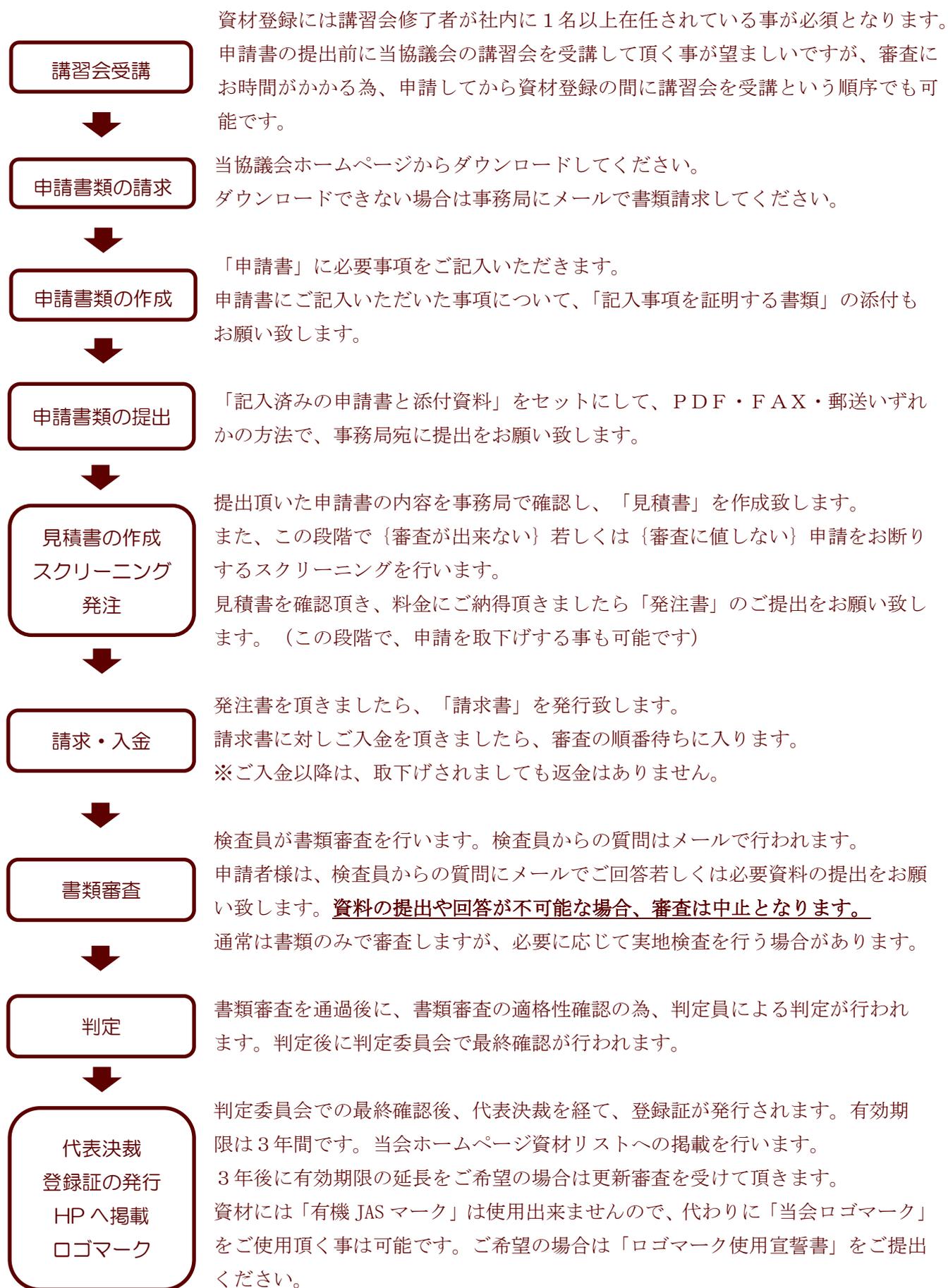
組織の概要

【役員】

代表理事	島崎真人	(一社)日本農林規格協会
副代表理事	高橋芳道	(NPO)環境保全米ネットワーク
理事(判定委員長)	加藤和男	(NPO)日本有機農業生産団体中央会
理事	武内 智	(一社)日本農林規格認証アライアンス
理事(検査部門長)	松橋直也	(公社)秋田県農業公社
理事	厨子圭介	(NPO)熊本県有機農業研究会
理事	高橋俊彰	(NPO)日本オーガニック&ナチュラルフーズ協会
監事	湯川剛一郎	湯川食品科学技術士事務所

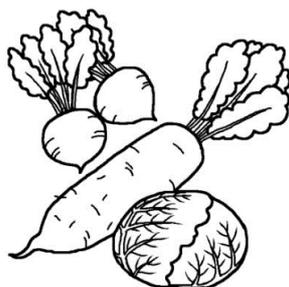
【会員】登録認証機関 23 団体 (2024年7月現在)

審査の流れは以下のようになっています



資材評価協議会のメリット

1. 資材評価協議会のリストは、農林水産省のホームページにリンクされており、当リストに掲載されている資材に関しては、資材評価協議会が有機 JAS 付属書への適合性を確認している為、誰でも安心して使用できます。
2. 有機 JAS 農産物を生産される生産者様は、圃場を使用する資材に、資材評価協議会のリスト掲載資材を使用すれば、安心な上、資材選択が楽になります。
当会の資材登録証があれば、製造工程や原材料等の資料が取り寄せ不要で、認証機関の検査に対応できます。
3. 資材メーカー様は、当会での審査の結果、有機 JAS 付属書に適合と判断されれば当会のリストに掲載されます。資材メーカー様は、多数のユーザー様に製造工程や原材料などの資料を提出しなくても済むようになり、業務効率のアップ、機密の保持に役立つ事が期待されます。
4. 資材評価協議会は、登録認証機関で仕事をする認証の専門家で構成されているので、肥料等の学術的な知識だけでなく、有機 JAS 制度に関連する法律・基準等にも精通しています。
5. 資材評価協議会は、資材の不正製造等に関する情報をいち早くキャッチする情報網を有しています。いざという時に、被害を最小限に抑える情報ネットワークを構築しています。
6. 資材評価協議会は、利用者の利益を確保するため、資材判定業務で問題等が発生した場合に備えて損害賠償保険に加入しています。



一般社団法人有機 JAS 資材評価協議会

<本部>〒150-0043

東京都渋谷区道玄坂 1 丁目 10 番 8 号渋谷道玄坂東急ビル 2F-C

<事務局>〒980-0011

宮城県仙台市青葉区上杉 1-16-3 JA ビル別館 5F

特定非営利活動法人 環境保全米ネットワーク 気付

TEL : 022-738-8343 FAX : 022-783-8344

Mail Address : info@yuhyokyo.com

ホームページ : <http://www.yuhyokyo.com/>